

災救通信

平成29年
3月1日
第10号

発行

天理教
災害救援
ひのきしん隊
北海道教区隊

逐次発行



冬季平時 訓練実施

南空知支部隊

災害隊南空知支部隊（寺澤信彦隊長）では平成29年1月30日、31日の両日三笠市に於いて冬季平時訓練を実施した。初日は市内の独居老人宅などの雪下ろしや除排雪の作業を行った。また、翌日は市内の福祉施設の除排雪も実施した。今年は積雪量は少なかつたものの、例年通り三笠市社会福祉協議会から要請を受けての作業となった。施設や住人の方からは「明るくなりました」「安心しました」などの声をいただき、更に社会福祉協議会の方からは「来年以降もお願いします」と早速の要請があり、長年活動を継続してきたことが次へとなつたり、信頼を深めている。

・個人宅除排雪8軒 共同作業所1棟
作業のべ人員33名 婦人会ひのきしん12名



屋根は1mを超える雪。



腰の高さ以上もある雪を排雪、南空知支部隊。



中村隊長率いる新体制の富良野支部隊。

富良野支部隊

2月11日 富良野支部隊（中村孝典隊長）では支部隊新体制の下、冬季訓練が実施された。初訓練となった現場は上富良野町社会福祉協議会要請の、民家屋及び車庫で、屋根の雪降ろしなどを行った。中村隊長は「要請を受けるところから訓練を始め、出勤基盤やイメージが出来た。しかしながら作業資材の不備などもあり反省点もあった。今後は定期的に活動を行って隊の結束を図りたい」と語った。

参加人員9名

天龍支部隊

天龍支部隊（田中直人隊長）では2月19日、20日と二日間にあわたって冬季平時訓練を深川市にて実施した。訓練初日は市内の民家3軒の屋根の雪降ろし作業を行った。また、二日目は多度志地区に移動し、民家軒下の排雪作業を行った。

・参加人員 19日10名 20日 12名
のべ22名



1階の窓が埋まるほどの雪を排雪。天龍隊。

小樽支部隊

2月19日、小樽支部隊（久米田忠彦隊長）でも冬季平時訓練が実施された。支部隊は小樽市の除雪ボランティアとして登録をしており、今年も民家3軒の除排雪を行った。またこの作業前には小樽天理教館の屋根の雪降ろしを実施した。午前9時半から午後4時半迄、参加した隊員12名は終日作業にあたった。



家の間もていねいに。小樽隊。



屋根の高さまでたまった大雪の小樽。

立教180年度 活動方針 『一手一つの活動を通じた地域ひのきしんの推進と隊の充実』

- ・活動の基盤となるちばへの伏せこみ
- ・次代を担う隊員の育成と増員
- ・実動を見据えた訓練の充実と行政機関との連携を図る

平成29年6月26日午後～27日午前

親里 白川整備ひのきしん（草刈り）

当番支部 倶知安・千恵広・室蘭・南空知・天龍

各隊1名

※詳細は庶務より連絡致します。